

まなびネットいわて

障がい者の生涯学習の推進Ⅱ ～当所の取り組み状況について～

今から15年前、平成18年の国連総会において「障害者の権利に関する条約」が採択されました。この条約の第24条「教育」においては「障害者を包容するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保する」ことが明示されています。学校教育と併せて生涯学習・社会教育分野でも、学習プログラムや生涯学習講座など、障がい者の多様な学びの場が提供されていくことが期待されています。各地域においても障がい者が差別されることなく地域社会への参加・参画していけるよう努力していく必要があります。昨年度、県内全市町村にご協力を得て、障がい者の生涯学習推進のあり方に関するアンケート調査を実施しました。障がい者の生涯学習を推進していくにあたっての課題として、6割を超えていた項目が「スタッフ・ボランティア等の確保」や「福祉関係部局や団体からの協力」でした。これらの課題解決に資するため、障がい者の理解促進、教育委員会、生涯学習部局と福祉関係機関等とのつながりづくりの機会になればと考え、今年度、全教育事務所管内において、指導者の養成・研修事業「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座」を実施しました。（盛岡地区は県独自「緊急事態宣言」期間により止む無く中止）今号は、当所で推進している指導者の養成・研修事業、調査研究事業において取り組んでいる「障がい者の生涯学習推進」に関する内容をお伝えします。（「障がい者の生涯学習推進」についての国の動向・主な取り組み事例、本県の状況はR2.10発行105号に掲載）

人づくり・地域づくり関係職員等研修講座

当該研修事業は、講義と演習を柱にして構成しました。講師の先生方は開催する教育事務所管内で福祉関係機関にご勤務する方を依頼。「ボッチャ体験」は県文化スポーツ部スポーツ振興課の菊池大輔氏にご協力いただきました。

①中部地区：講義は花巻市保健福祉障がい福祉課の佐藤峰子氏、社会福祉法人光琳会の横沢亜弓氏②県南地区：講義は社会福祉法人一関障害者生活プラザの小野寺伸氏、社会福祉法人仁愛会障害者相談支援事業所の佐々木一貴氏、事例発表はNPO法人明かるぐ生ぎるかわさき地域活動支援センター工房てんとう虫の木村静江氏③沿岸南部地区：講義、意見・感想交流は社会福祉法人大洋会障がい者・児童相談支援センター地域活動支援センター星雲相談室の菅野大氏④宮古地区：講義・交流は宮古圏域障がい者福祉推進ネットワークの栗津優氏⑤久慈地区：講義は県立久慈拓陽支援学校の梅野佳和氏、事例発表及び演習（「卓球バレー体験」）は久慈地域卓球バレー協会の新里周一氏、類家勉氏

受講者の皆様からは「障がいについて理解を深めることができた」「多様な存在や考えを認め合うにはたくさんのお出会いや知る機会が重要」などの声が寄せられました。ボッチャや卓球バレーは実際に体験していただくことで、障がいのあるなしにかかわらず手軽に行うことができ、各市町村事業で実施可能であることをご理解いただけたのではないかと思います。また、事業終了後、福祉関係機関の方と市町村の方が名刺交換する場面があり、それぞれがつながる機会になったのではないかと思います。来年度も障がい理解が少しずつでも進むよう事業検討をして参りたいと考えています。左記枠の中の皆様はそれぞれの地域でご活躍の方々です。障がいの理解を図る、障がい者と共に体験活動等を実施する際は講師として依頼して頂いてはいかがでしょうか。地域での連携を深めていただければと思います。

障がい者の生涯学習の推進例

障がい者の生涯学習を推進していくために、各市町村においてどのような事業展開等が考えられるかについての例を挙げます。それは新規事業を構築するというのではなく、福祉関係部局の実施事業に教育委員会、生涯学習部局が参加するという方法です。福祉関係機関は障がい者を、教育委員会、生涯学習部局は健常者の参加を募り、一緒に活動することを通して障がいの理解を図るというものです。もちろん事前に連携をとりながら協議や情報交換をした上での実施です。障がい者の学びを止めない、また障がいがあるなしにかかわらず共に学ぶ場づくりが進められることを願ってやみません。

調査研究事業

調査研究事業では「障がい者の生涯学習推進のあり方」について推進しています。今年度はコロナが小康状態のところ、県内外への訪問調査を実施しました。障がい者のご家族、障がい者と関わっている方などから聞き取り調査を行い、現在、執筆作業を進めています。それらの内容は、来年2月3・4日（木・金）に実施する岩手県生涯学習推進研究発表会でお伝えします。詳細については、当所HP「まなびネットいわて」に掲載しますのでご覧ください。

（※法令等の引用で「障害」と表記している場合があります）

岩手県生涯学習推進研究発表会

～ 岩手の人づくり・つながりづくり
・地域づくりフォーラム 2021 ～

[2月3日(木)] 10:45 ～ 12:45

★【事例発表・協議】「障がいのある人の生涯学習の場づくりにむけて」

助言者 神戸大学人間発達環境学研究所

教授 津田 英二 氏

(1) ぼけっとの会 ～重い障がいがある子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会～

三浦 かおる 氏

三浦 りん さん

(2) 宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)

事務局次長 主任相談支援専門員 高屋敷 大助 氏

(3) 知的障がいのある成人の生涯学習スクール「ピュアフレンズ」

青森県弘前市教育委員会中央公民館

総括主査 柴田 浩 氏

ボランティアサークル「虹の会」

代表 安田 政英 氏

13:45 ～ 15:45

★【講演】「障がい者の生涯学習を考える」

講師 神戸大学人間発達環境学研究所

教授 津田 英二 氏

本発表会は、参集
とオンラインのハイ
ブリッド形式で
行います。



津田 英二 氏

〔講師紹介〕

1968年生まれ。2015年より神戸大学人間発達環境学研究所教授として勤務(2019年より神戸大学附属特別支援学校校長を兼任)。大学では、障がいや貧困の問題を切り口として、インクルーシブな社会に向かう人々の学びの方法や過程を追究する実践的研究を推進。現在、文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」委員(座長)、兵庫県教育委員会「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム委員(座長)、三田市障害福祉審議会(座長)等、複数の委員として活躍中。

『障害のある成人の学習支援論(学文社、2006年)』、『物語としての発達/文化を介した教育(生活書院、2012年)』、『生涯学習の支援論(学文社、2003年)』、『社会教育・生涯学習研究のすすめ(学文社、2015年)』他、著書多数。

[2月4日(金)] 10:00 ～ 12:20

★【研究発表】 当センターの今年度の研究成果を発表します。

助言者 岩手大学 名誉教授 新妻 二男 氏

(1) 社会教育におけるICT活用のあり方に関する研究

※本県におけるICTの活用について現状の調査と今後のあり方について探ります。

(2) 障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究

※障がいのある方もない方も共に学べる生涯学習のあり方について探ります。

日時

令和4年 2月3日(木) 10:30～15:45

2月4日(金) 10:00～12:20

会場

岩手県立生涯学習推進センター(または、オンライン)

〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13 TEL0198-27-4555

※参加申し込みについては要項をご覧ください。

※お問い合わせは生涯学習推進センター(上記)までどうぞ。

岩手県生涯学習推進研究発表会【ライブ配信】

今年度の発表会も新型コロナウイルス感染症対策のため、発表会と同時にライブ配信を行うことで、多くの方々に参加していただくことといたしました。

【ライブ配信への参加のしかた】 ※下の画像はイメージです。実際の画面はレイアウトなど多少変更になる場合があります。

1. 発表会参加申込書にメールアドレスを記入した上で申込
2. 参加申込者全員のメールアドレス宛に発表会当日のみ視聴可能なURLを送付
(URL送付以外にも、研究発表会に関する連絡はすべてメールとホームページで行いますので、定期的にご確認をお願いします)
3. 発表会のページから該当の発表(メインチャンネル欄「YouTube」)をクリックすると、配信映像が視聴できる

※研究発表会当日は、新型コロナウイルスの感染状況や都合に合わせ、参集かオンラインでご参加ください。なお参加方法についての連絡は不要です。

まなびネットいわて

令和3年度 生涯学習推進研究発表会
令和4年2月3日(木)～4日(金)

ライブ配信視聴の前にご確認ください
YouTubeライブ配信の視聴について事前に準備していただくことがあります。 [こちらをご覧ください](#)

ライブ配信をご覧になるためには、各講座のメインチャンネルのYouTubeのロゴをクリックしてください。

講座・講師	メインチャンネル	サブチャンネル
令和4年2月3日(木) 午前 10:30～12:45		
令和4年2月3日(木) 午後 13:45～15:45		
令和4年2月4日(金) 午前 10:00～12:20		

配信はメインチャンネルとサブチャンネルで同時に配信しております。配信が途中で止まった場合は、サブチャンネルをご覧ください
配信の途中で動画が止まってしまった場合は、ブラウザの「更新」をクリックして、しばらく様子を見てください。

◎研修会資料
※資料は、事前に印刷するなどして、動画をご覧ください
しおり
事例発表①
「[ほけつとの会 ～重い障がいがある子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会～](#)」
事例発表②
「[宜古岡地域障がい福祉推進ネット\(レインボーネット\)](#)」
事例発表③
「[知的障がいのある成人の生涯学習スクール「デュアフレンド」](#)」
講演
「[「障がい者の生涯学習を考える」](#)」
研究発表①
「[「社会教育におけるICT活用の在り方に関する研究」](#)」
研究発表②
「[「障がい者の生涯学習のあり方に関する研究」](#)」

ご視聴にあたっての注意

※事前にご確認ください

- ・発表のスライドは文字が小さいものもあります。パソコンなど、画面の大きな装置での視聴をおすすめします。
- ・高画質の動画が視聴できる通信環境かどうか事前にご確認ください。

- ・ご覧になる発表をクリックすると YouTube の該当動画が開きます。

ライブ配信は限定配信をします。YouTube 上で検索しても表示されません。

- ・各発表資料のpdfファイルがダウンロードできます。
- ・オンラインで参加予定の方は、事前に印刷するなどしてご利用ください。

- ・ご視聴後、アンケートにご協力をお願いします。(個人を特定するような内容ではありません)
- ※各発表資料下に「アンケート」が表示されます。



矢巾町文化スポーツ課から、特色ある事業について寄稿いただきました。

矢巾町では、第7次矢巾町総合計画に掲げられた、7つのまちづくりの施策方針の一つであります「時代を拓き次代につながる人づくり」を基本理念として、「深い知性と心豊かな人、協力的で責任感の強い人、心身たくましく実践力のある人」という目標を掲げて、人づくりを推進しております。また、「音楽のまち」、「スポーツのまち」をそれぞれ宣言しており、文化芸術・スポーツ活動の振興にも取り組んでおります。今年度の取り組みについて、いくつか紹介いたします。

【矢巾町芸術祭・音楽祭】

矢巾町芸術祭・音楽祭は毎年、9月～11月頃開催しており、舞台部門と展示部門に分かれております。舞台部門では、舞踊や合唱、吹奏楽、ダンスなど実に多彩な発表内容となっており、町内小中学校・不來方高校、町内サークルの方に出演いただきました。



当日は、日ごろの部活動やサークル活動の成果を披露いただき、会場は賑わいを見せていました。

また、展示部門でも、書道、生け花、盆栽など様々なジャンルの展示を行い、来場者が思い思いに展示された作品の数々を鑑賞しました。

【水本圭治選手東京オリンピック出場記念植樹】

今夏に開催された東京2020オリンピックには、本町出身である水本圭治選手がカヌースプリント競技に出場し、町民に限



らず多くの方に勇気と感動を与えてくださいました。その出場を記念し、町民総合体育館敷地内にオリンピックオークの苗木を植樹しました。

この木の成長とともに、水本選手の東京オリンピック出場という偉業を末永く後世に伝えながら、スポーツのまちとして町民の誰もがスポーツを「するみるささえる」という様々な形で参加し、喜びを分かち合うことを目指して、今後も様々な事業を推進してまいります。

【命の先生派遣】

町が事務局として支援している町青少年健全育成町民会議と町内中学校が協働し、中学生を対象に腰塚隼人氏から、「命の事業 ～ドリー夢メーカーと今を生きる～」を題に講演をいただきました（リモート講演）。腰塚氏には、事故による下半身不随から奇跡の復活までの中で得た『生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前前に感じ、忘れかけている大切な幸せ』について語っていただきました。講演中、子どもたちが真剣な眼差しで聞いている姿が大変印象的でした。



また、リモート講演後、腰塚氏がサプライズで町内中学校を訪問し、腰塚氏から直接、「今の仲間たちとの活動を大切にしてほしい」との言葉が送られました。

コロナ禍により、活動が制限されていますが、今後とも工夫を凝らし、町民の皆様が充実した社会生活を送る一助になればと思います。